

Q 国際会議の座席割りの例を教えてください。

A 【ワンポイント・アドバイス】

二者間の国際会議は、両者がテーブルを挟んで向かい合う座席割りが一般的です（図1）。また、三者以上の国際会議の主な例は、図2、3及び4のとおり、何通りかの方法があります。

【解説】

1. 二者間の国際会議では、テーブルを挟んで両者が向き合う方法が一般的です。その際、双方の中心者乃至代表者が、テーブルの中央に向かい合って着席し、中心者の右側にそれぞれの2番目、左側に3番目の代表が着席します。また、通訳は、序列の中には含めず、中心の近くに着席するようにします（図1）。
2. 三者以上の国際会議では、何通りかの方法がありますが、主な例は以下の通りです。
 - （1）議長の右側から出席者の序列順に反時計回りで座席を割り振る方法（図2）
 - （2）議長の右側に一番目、左側に二番目の代表が着席し、その他の代表は序列順に左右交互に着席する方法（図3）
 - （3）議長の前側に一番目の代表が着席し、議長の右側に二番目、一番目の代表者の右側に三番目、議長の左側に四番目、一番目の代表の左側に五番目が着席する方法（図4）
3. 参加者の序列の考え方
参加者の序列は、肩書きで決める方法が一般的ですが、同じ肩書き同士の場合はその役職に就任した順が古い者を上位とするのが原則です。また、参加者の序列ではなく、国や地域の名称のアルファベット順を序列とする方法も使われます。
4. 国際会議の参加者の顔ぶれがほぼ決まったところで、いろいろな方法で座席割り案を作成してみて、どの方法が最も適当かを比較することをお勧めします。

図1 二者間会議

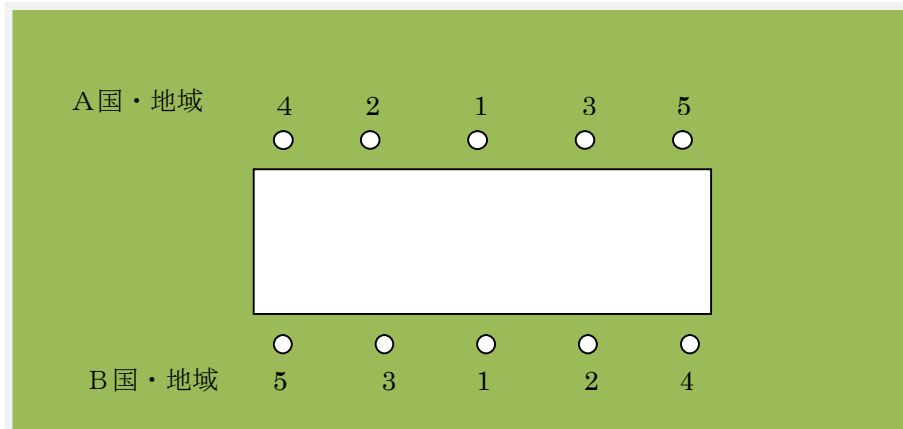


図2 三者以上会議①

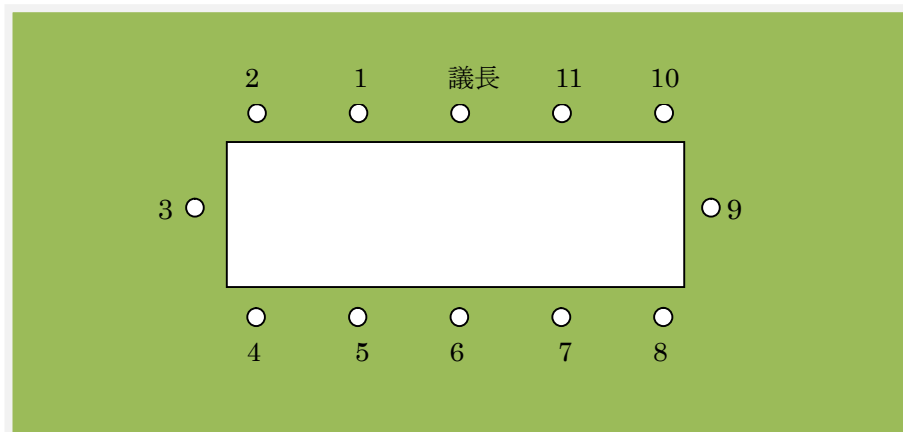


図3 三者以上②

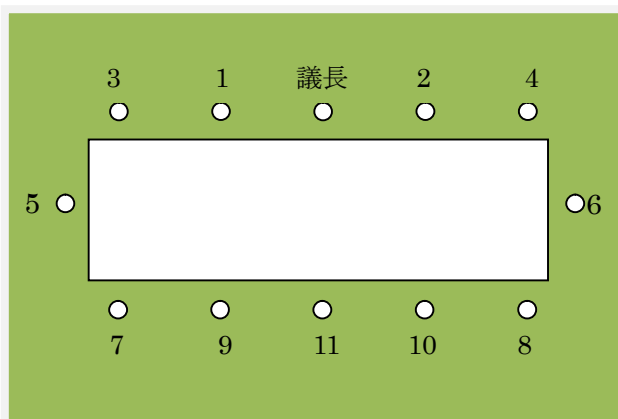


図4 三者以上③

